

ユニバーサルデザインについてのアンケート結果

県では、平成 17 年に「淡海ユニバーサルデザイン行動指針」を策定し、ユニバーサルデザインの考え方を浸透させるための取組を進めてきたところです。

平成 30 年 5 月に、「バリアフリー法」の一部改正があり、本県も県民全体でユニバーサルデザインを進める節目にあり、「心のバリアフリー」をより進めるため、県民の皆様の意識等を把握するアンケート調査を実施しました。

★調査時期:平成 30 年7月

★対象者:県政モニター398 人

★回答数:336 人(回収率 84.4%)

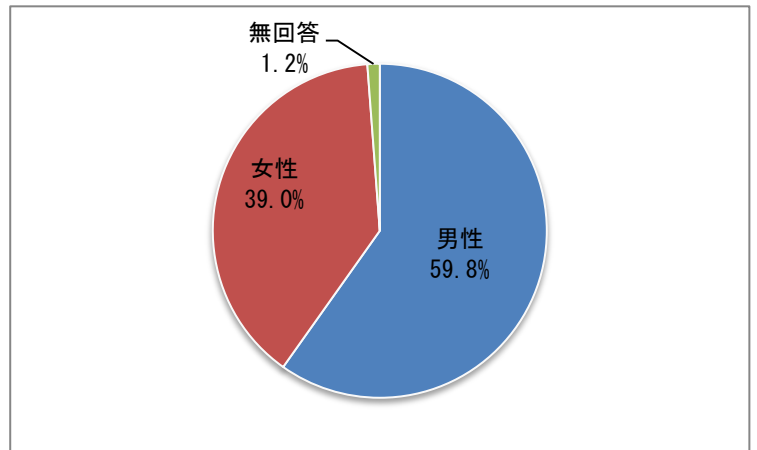
★担当課:健康医療福祉部健康福祉政策課

※四捨五入により、割合の合計が 100%にならない場合があります。

【属性】

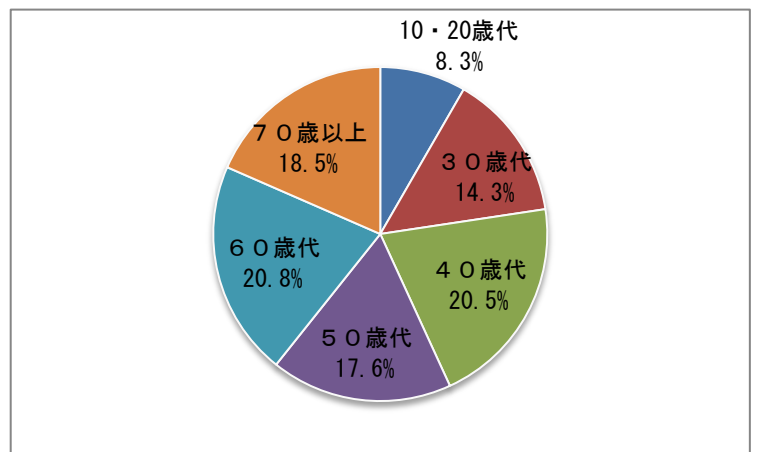
◆性別

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----|-------|--------|
| 男性 | 201 | 59.8% |
| 女性 | 131 | 39.0% |
| 無回答 | 4 | 1.2% |
| 合計 | 336 | 100.0% |



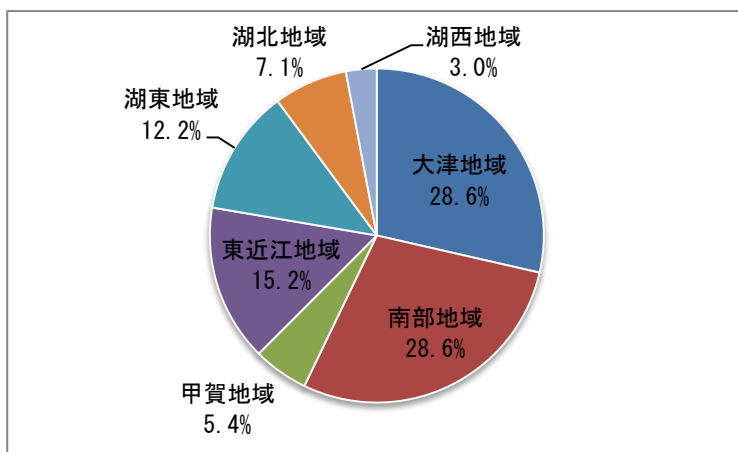
◆年代

| 年代別 | 人数(人) | 割合(%) |
|----------|-------|--------|
| 10・20 歳代 | 28 | 8.3% |
| 30 歳代 | 48 | 14.3% |
| 40 歳代 | 69 | 20.5% |
| 50 歳代 | 59 | 17.6% |
| 60 歳代 | 70 | 20.8% |
| 70 歳以上 | 62 | 18.5% |
| 合計 | 336 | 100.0% |



◆地域

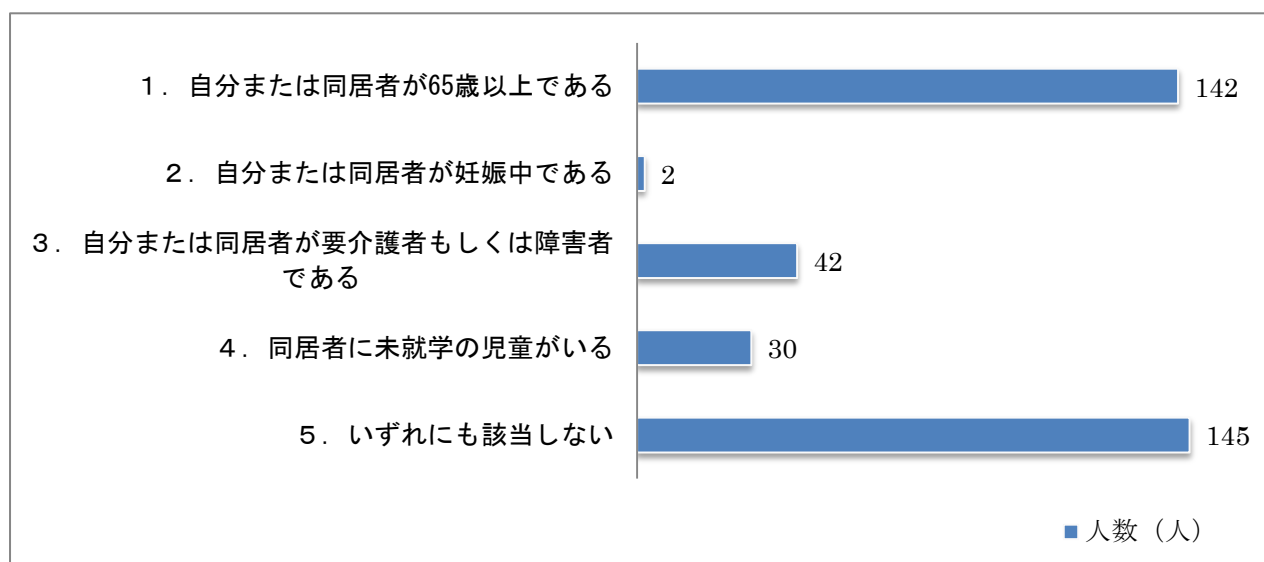
| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|--------|
| 大津地域 | 96 | 28.6% |
| 南部地域 | 96 | 28.6% |
| 甲賀地域 | 18 | 5.4% |
| 東近江地域 | 51 | 15.2% |
| 湖東地域 | 41 | 12.2% |
| 湖北地域 | 24 | 7.1% |
| 湖西地域 | 10 | 3.0% |
| 合計 | 336 | 100.0% |



問1 あなた、または、あなたの同居者が以下のいずれに該当するか教えてください。

(回答チェックはいくつでも。 n=336)

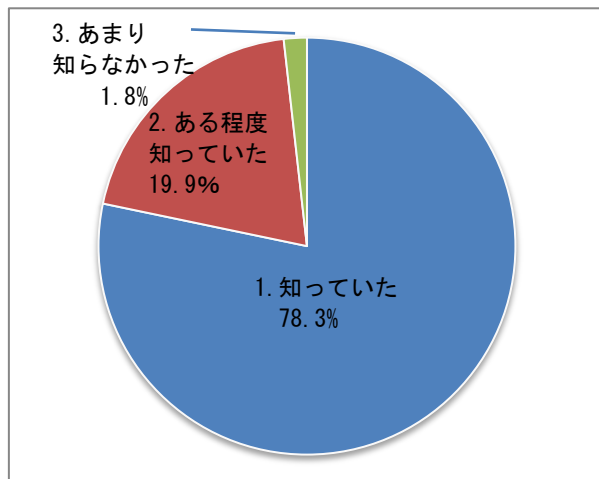
| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------------------|-------|-------|
| 1. 自分または同居者が65歳以上である | 142 | 42.3% |
| 2. 自分または同居者が妊娠中である | 2 | 0.6% |
| 3. 自分または同居者が要介護者もしくは障害者である | 42 | 12.5% |
| 4. 同居者に未就学の児童がいる | 30 | 8.9% |
| 5. いずれにも該当しない | 145 | 43.2% |



問2 あなたはバリアフリーという言葉とその意味を知っていましたか。

(回答チェックは1つだけ。 n=336)

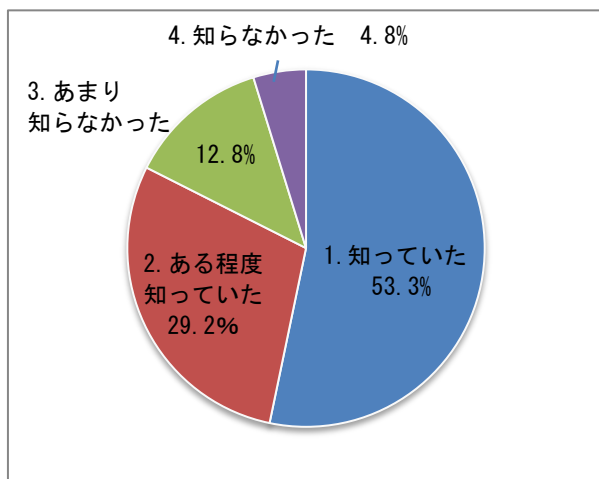
| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|--------|
| 1. 知っていた | 263 | 78.3% |
| 2. ある程度知っていた | 67 | 19.9% |
| 3. あまり知らなかった | 6 | 1.8% |
| 4. 知らなかった | 0 | 0.0% |
| 合計 | 336 | 100.0% |



問3 あなたは、ユニバーサルデザインという言葉とその意味を知っていましたか。

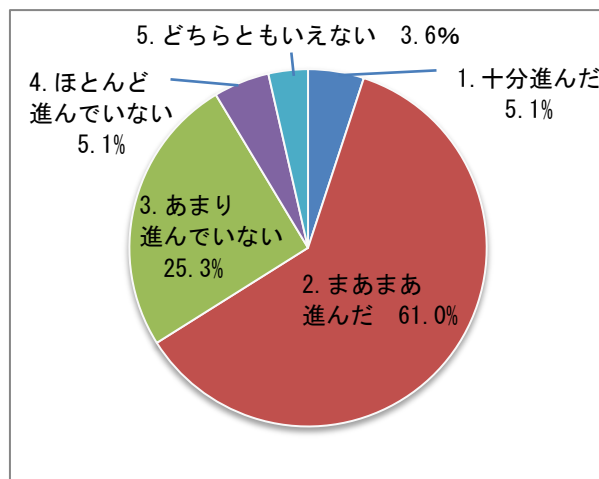
(回答チェックは1つだけ。 n=336)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------|-------|--------|
| 1. 知っていた | 179 | 53.3% |
| 2. ある程度知っていた | 98 | 29.2% |
| 3. あまり知らなかった | 43 | 12.8% |
| 4. 知らなかった | 16 | 4.8% |
| 合計 | 336 | 100.0% |



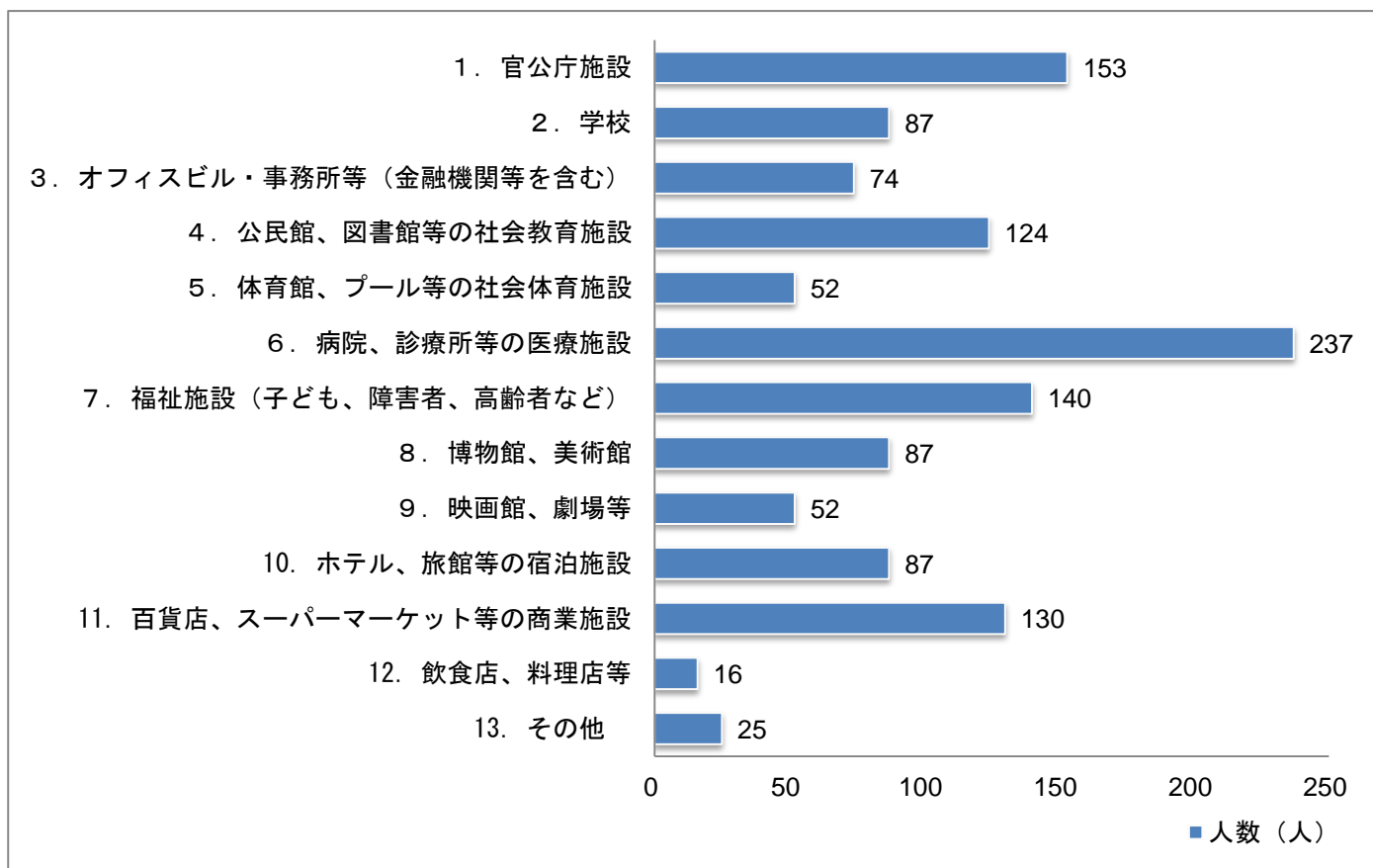
問4 あなたが日常生活や社会生活を送るうえで、一般的にバリアフリーやユニバーサルデザインがここ10年で進んだと思いますか。(回答チェックは1つだけ。 n=336)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------------|-------|--------|
| 1. 十分進んだ | 17 | 5.1% |
| 2. まあまあ進んだ | 205 | 61.0% |
| 3. あまり進んでいない | 85 | 25.3% |
| 4. ほとんど進んでいない | 17 | 5.1% |
| 5. どちらともいえない (わからない) | 12 | 3.6% |
| 合計 | 336 | 100.0% |



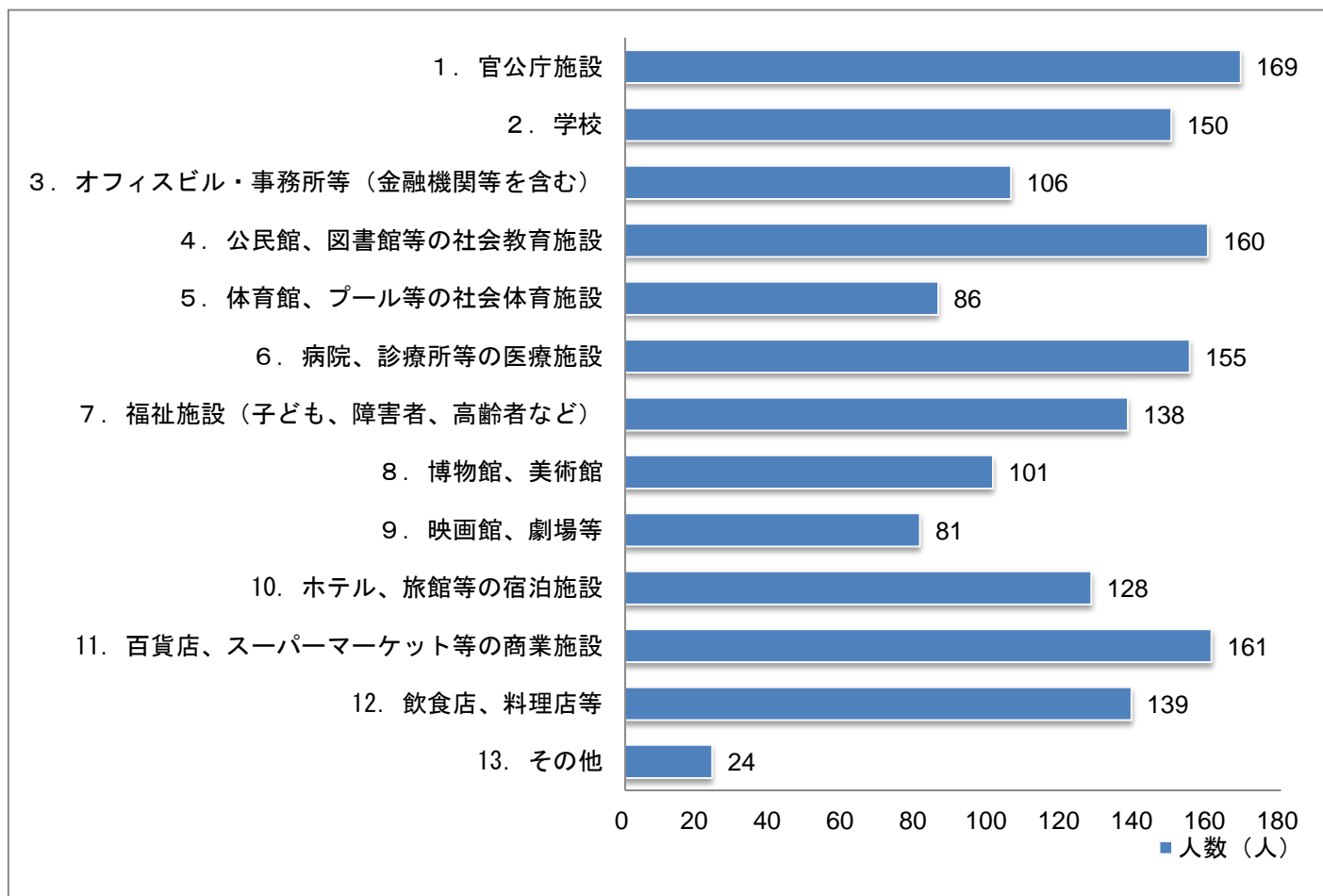
問5 県内の施設(建築物)について、主にハード面から、バリアフリーまたはユニバーサルデザインの取組が進んでいると思うものを教えてください。(回答チェックはいくつでも。 n=336)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------------|-------|-------|
| 1. 官公庁施設 | 153 | 45.5% |
| 2. 学校 | 87 | 25.9% |
| 3. オフィスビル・事務所等(金融機関等を含む) | 74 | 22.0% |
| 4. 公民館、図書館等の社会教育施設 | 124 | 36.9% |
| 5. 体育館、プール等の社会体育施設 | 52 | 15.5% |
| 6. 病院、診療所等の医療施設 | 237 | 70.5% |
| 7. 福祉施設(子ども、障害者、高齢者など) | 140 | 41.7% |
| 8. 博物館、美術館 | 87 | 25.9% |
| 9. 映画館、劇場等 | 52 | 15.5% |
| 10. ホテル、旅館等の宿泊施設 | 87 | 25.9% |
| 11. 百貨店、スーパーマーケット等の商業施設 | 130 | 38.7% |
| 12. 飲食店、料理店等 | 16 | 4.8% |
| 13. その他 | 25 | 7.4% |



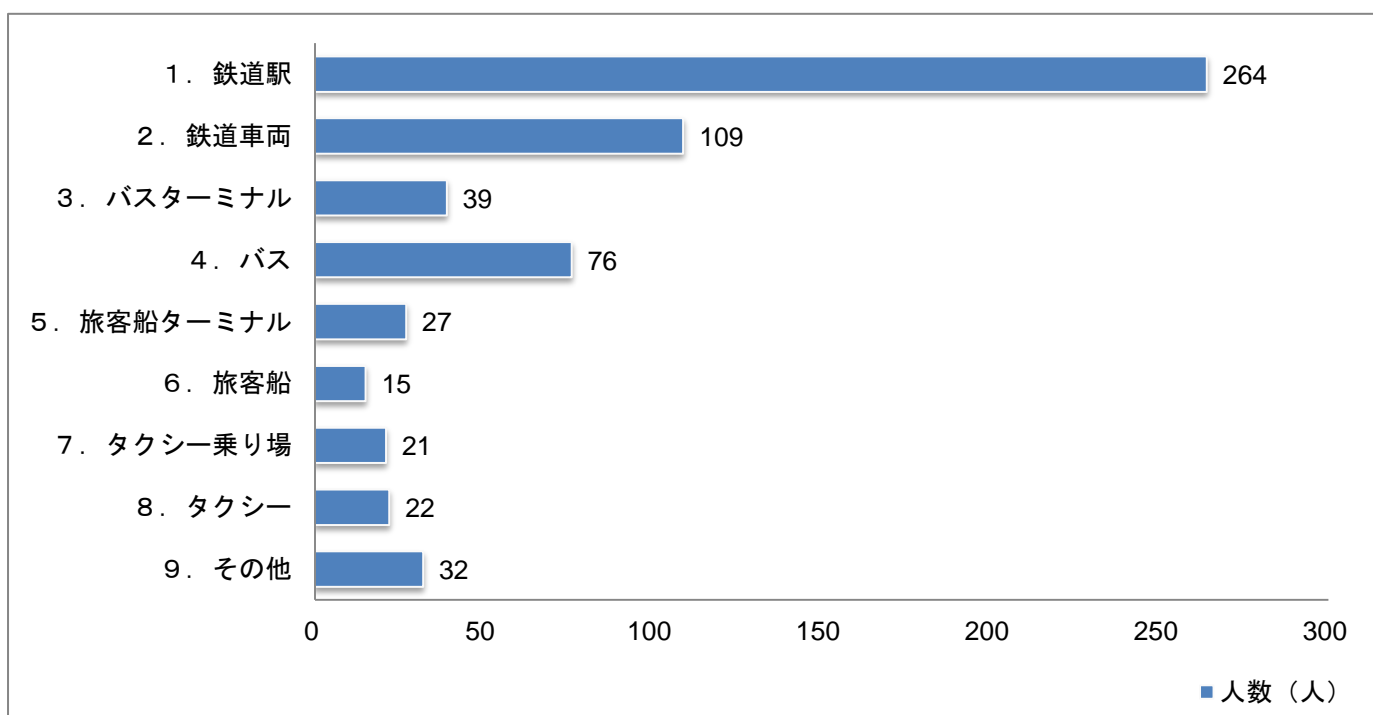
問6 引き続き、県内の施設(建築物)についてお尋ねします。多目的トイレやエレベーター等の設備状況・誘導等の情報表示などのバリアフリー・ユニバーサルデザインによる取組について、今後、特にどこで重点的に進める必要があると思いますか。(回答チェックはいくつでも。 n=336)

| 項目 | 人数 (人) | 割合 (%) |
|---------------------------|--------|--------|
| 1. 官公庁施設 | 169 | 50.3% |
| 2. 学校 | 150 | 44.6% |
| 3. オフィスビル・事務所等 (金融機関等を含む) | 106 | 31.5% |
| 4. 公民館、図書館等の社会教育施設 | 160 | 47.6% |
| 5. 体育館、プール等の社会体育施設 | 86 | 25.6% |
| 6. 病院、診療所等の医療施設 | 155 | 46.1% |
| 7. 福祉施設 (子ども、障害者、高齢者など) | 138 | 41.1% |
| 8. 博物館、美術館 | 101 | 30.1% |
| 9. 映画館、劇場等 | 81 | 24.1% |
| 10. ホテル、旅館等の宿泊施設 | 128 | 38.1% |
| 11. 百貨店、スーパーマーケット等の商業施設 | 161 | 47.9% |
| 12. 飲食店、料理店等 | 139 | 41.4% |
| 13. その他 | 24 | 7.1% |



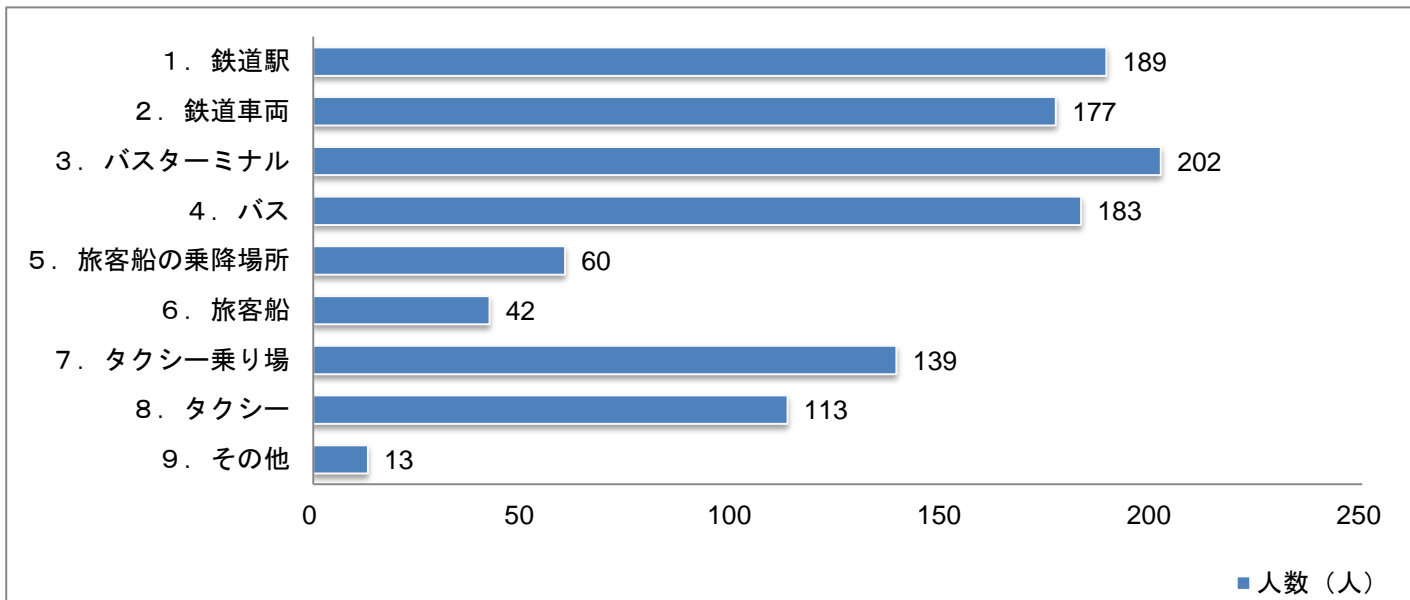
問7 県内の交通機関について、主にハード面からバリアフリーまたはユニバーサルデザインの実施が進んでいると思うものを教えてください。(回答チェックはいくつでも。 n=336)

| 項目 | 人数 (人) | 割合 (%) |
|-------------|--------|--------|
| 1. 鉄道駅 | 264 | 78.6% |
| 2. 鉄道車両 | 109 | 32.4% |
| 3. バスターミナル | 39 | 11.6% |
| 4. バス | 76 | 22.6% |
| 5. 旅客船ターミナル | 27 | 8.0% |
| 6. 旅客船 | 15 | 4.5% |
| 7. タクシー乗り場 | 21 | 6.3% |
| 8. タクシー | 22 | 6.5% |
| 9. その他 | 32 | 9.5% |



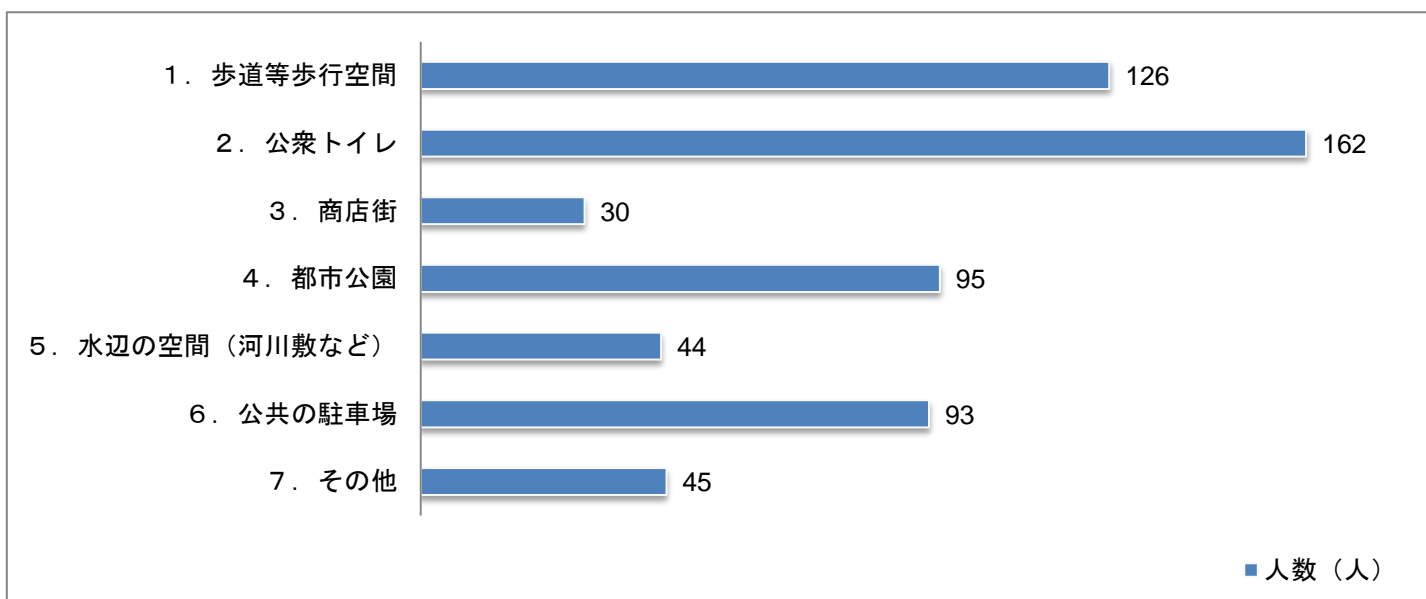
問8 引き続き、県内の交通機関についてお尋ねします。多目的トイレやエレベーター等の設備状況・誘導等の情報表示などの、バリアフリー・ユニバーサルデザインによる取組について、今後、特にどの項目で重点的に進める必要があると思いますか。(回答チェックはいくつでも可。 n=336)

| 項目 | 人数 (人) | 割合 (%) |
|-------------|--------|--------|
| 1. 鉄道駅 | 189 | 56.3% |
| 2. 鉄道車両 | 177 | 52.7% |
| 3. バスターミナル | 202 | 60.1% |
| 4. バス | 183 | 54.5% |
| 5. 旅客船の乗降場所 | 60 | 17.9% |
| 6. 旅客船 | 42 | 12.5% |
| 7. タクシー乗り場 | 139 | 41.4% |
| 8. タクシー | 113 | 33.6% |
| 9. その他 | 13 | 3.9% |



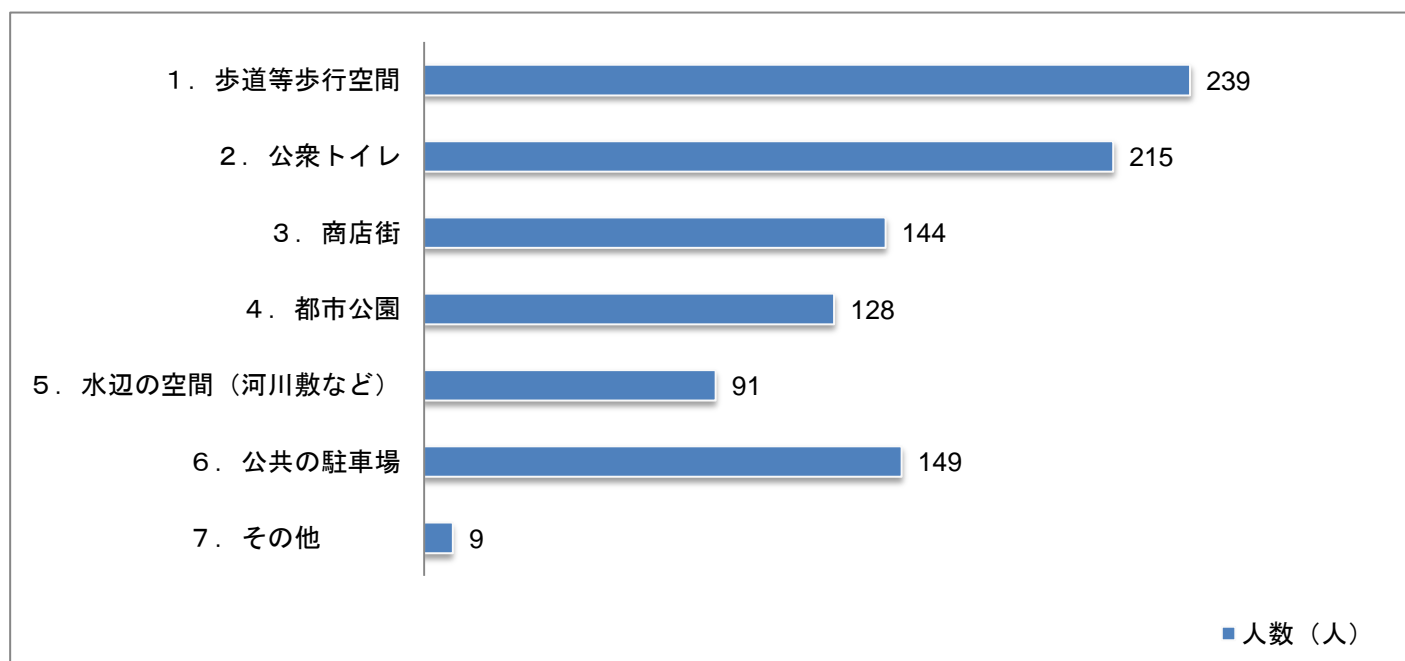
問9 県内の公共空間について、主にハード面からバリアフリーまたはユニバーサルデザインの取組が進んでいると思うものを教えてください。(回答チェックはいくつでも。n=336)

| 項目 | 人数 (人) | 割合 (%) |
|------------------|--------|--------|
| 1. 歩道等歩行空間 | 126 | 37.5% |
| 2. 公衆トイレ | 162 | 48.2% |
| 3. 商店街 | 30 | 8.9% |
| 4. 都市公園 | 95 | 28.3% |
| 5. 水辺の空間 (河川敷など) | 44 | 13.1% |
| 6. 公共の駐車場 | 93 | 27.7% |
| 7. その他 | 45 | 13.4% |



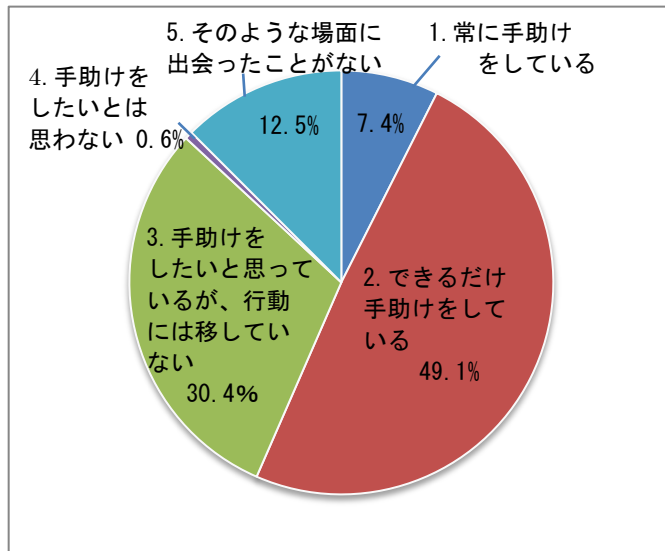
問 10 引き続き、県内の公共空間についてお尋ねします。多目的トイレやエレベーター等の設備状況・誘導等の情報表示などのバリアフリー・ユニバーサルデザインによる取組について、今後、特にどこで重点的に進める必要があると思いますか。(回答チェックはいくつでも。n=336)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------------|-------|-------|
| 1. 歩道等歩行空間 | 239 | 71.1% |
| 2. 公衆トイレ | 215 | 64.0% |
| 3. 商店街 | 144 | 42.9% |
| 4. 都市公園 | 128 | 38.1% |
| 5. 水辺の空間(河川敷など) | 91 | 27.1% |
| 6. 公共の駐車場 | 149 | 44.3% |
| 7. その他 | 9 | 2.7% |



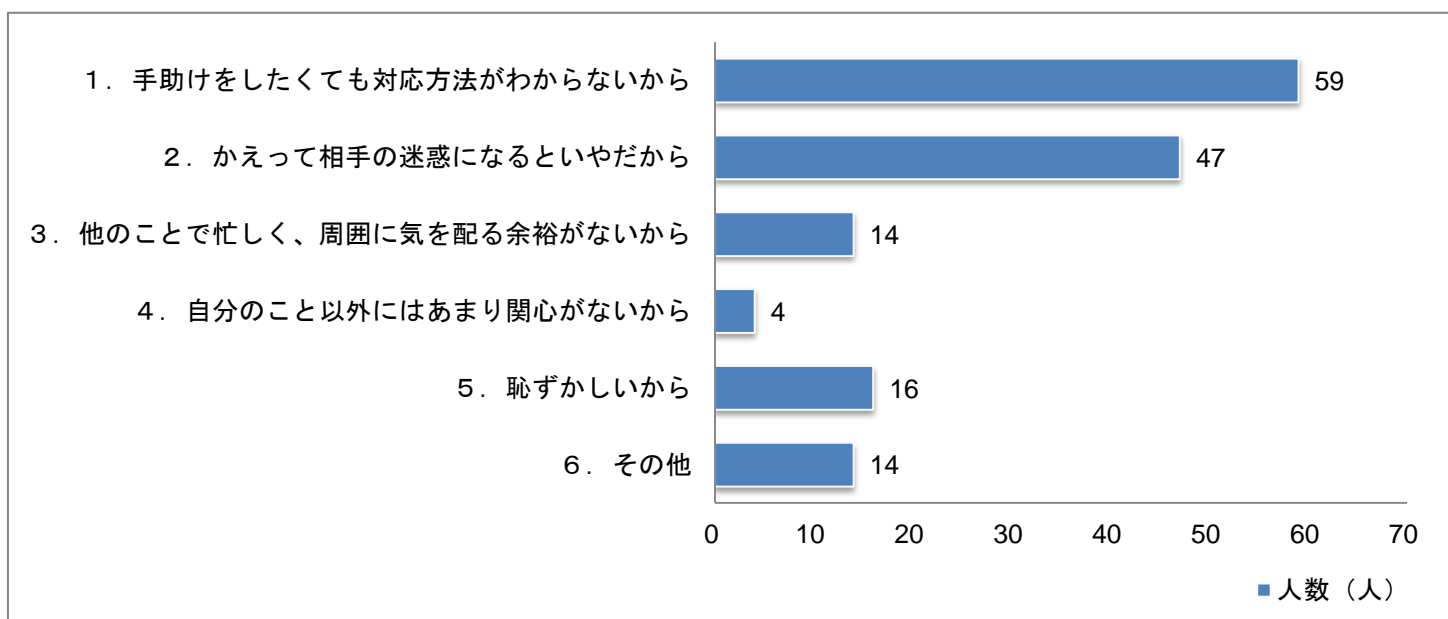
問 11 外出時に、車いすの人が段差で進めなくなっていたり、視覚障害がある人、外国人等が駅で困っているのを見かけた時、あなたは声をかけて手助けをしていますか。(回答チェックは1つだけ。n=336)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|------------------------------|-------|--------|
| 1. 常に手助けをしている | 25 | 7.4% |
| 2. できるだけ手助けをしている | 165 | 49.1% |
| 3. 手助けをしたいと思っているが、行動には移していない | 102 | 30.4% |
| 4. 手助けをしたいとは思わない | 2 | 0.6% |
| 5. そのような場面に出会ったことがない | 42 | 12.5% |
| 合計 | 336 | 100.0% |



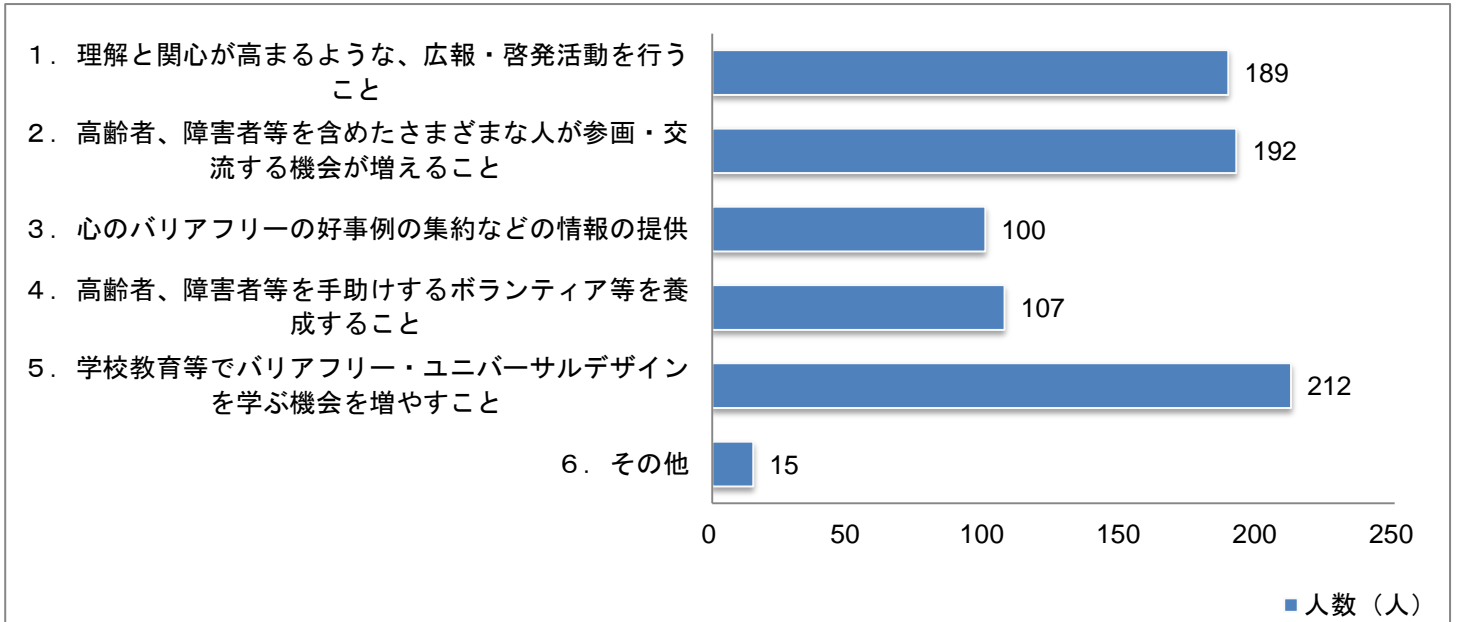
問 12 問11で「3. 手助けをしたいと思っているが、行動には移していない」「4. 手助けをしたいとは思わない」と回答された方に伺います。その理由を教えてください。(回答チェックはいくつでも。n=104)

| 項目 | 人数 (人) | 割合 (%) |
|----------------------------|--------|--------|
| 1. 手助けをしたくても対応方法がわからないから | 59 | 56.7% |
| 2. かえって相手の迷惑になるといやだから | 47 | 45.2% |
| 3. 他のことで忙しく、周囲に気を配る余裕がないから | 14 | 13.5% |
| 4. 自分のこと以外にはあまり関心がないから | 4 | 3.8% |
| 5. 恥ずかしいから | 16 | 15.4% |
| 6. その他 | 14 | 13.5% |



問 13 「心のバリアフリー」を実現していくために、今後どの項目を重点的に進める必要があると思いますか。(回答チェックはいくつでも n=336)

| 項目 | 人数 (人) | 割合 (%) |
|---------------------------------------|--------|--------|
| 1. 理解と関心が高まるような、広報・啓発活動を行うこと | 189 | 56.3% |
| 2. 高齢者、障害者等を含めたさまざまな人が参画・交流する機会が増えること | 192 | 57.1% |
| 3. 心のバリアフリーの好事例の集約などの情報の提供 | 100 | 29.8% |
| 4. 高齢者、障害者等を手助けするボランティア等を養成すること | 107 | 31.8% |
| 5. 学校教育等でバリアフリー・ユニバーサルデザインを学ぶ機会を増やすこと | 212 | 63.1% |
| 6. その他 | 15 | 4.5% |

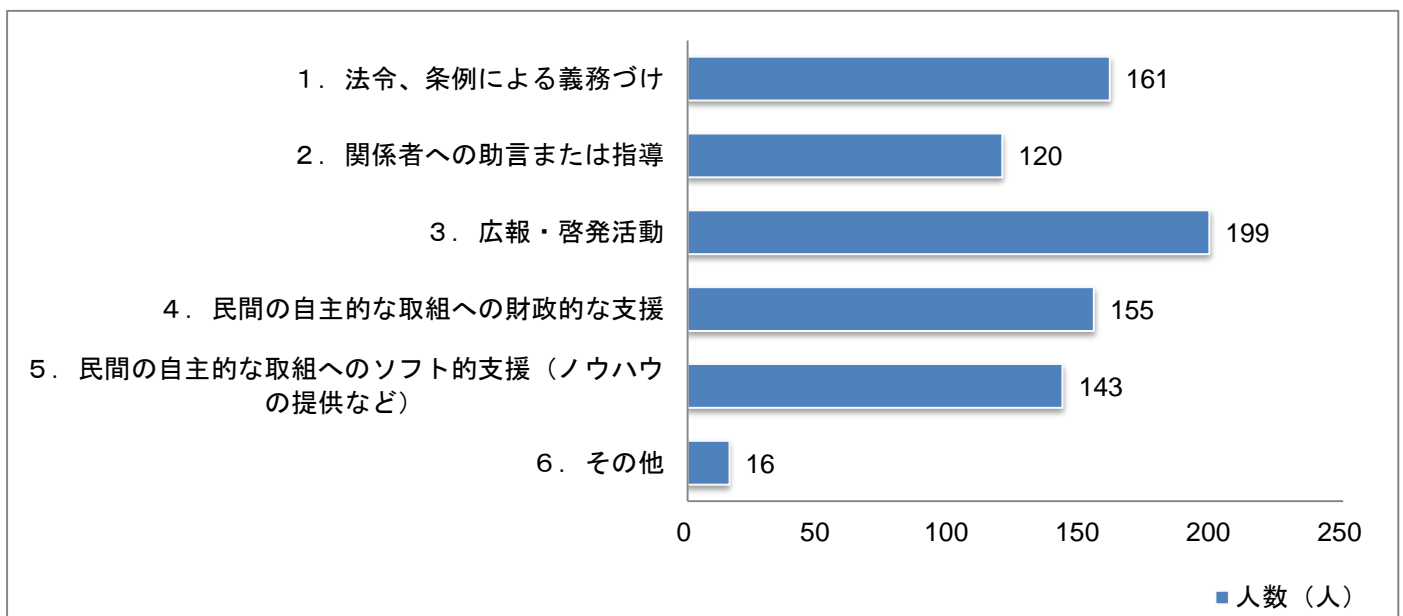


問 14 日常生活や社会生活で利用する施設について、これからもバリアフリー・ユニバーサルデザインを進めていくために、国や地方公共団体に何を期待しますか。

(回答チェックはいくつでも。n=336)

*参考:2024年に滋賀県において国スポ・障スポ大会の開催が予定されています

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|---------------------------------|-------|-------|
| 1. 法令、条例による義務づけ | 161 | 20.3% |
| 2. 関係者への助言または指導 | 120 | 15.1% |
| 3. 広報・啓発活動 | 199 | 25.1% |
| 4. 民間の自主的な取組への財政的な支援 | 155 | 19.5% |
| 5. 民間の自主的な取組へのソフト的支援(ノウハウの提供など) | 143 | 18.0% |
| 6. その他 | 16 | 2.0% |



問 15 その他、バリアフリーまたはユニバーサルデザインについて、思いつくものまたは御意見等がありましたらお聞かせください。(自由記述)

- ・困っている人がいても、見て見ぬふりをする傾向が高いと思う。もっと積極的に人を助け合える世の中にしていきたい。
- ・誰もが相互扶助の精神を醸成する必要があると思う。
- ・一見バリアフリーだが、車いすで通過できないスロープや後付けスロープで位置がわかりにくいところがある。
- ・バリアフリー、ユニバーサルデザインについて小さい頃からしっかり学ぶ機会をつくって欲しい。
- ・バリアフリーもユニバーサルデザインも小学校や中学校の授業で、体験も含めてその内容がずっと残っているので、学校などでの教育が大事。
- ・2024年に滋賀県において国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催が予定されている。是非頑張って新しいタイプの滋賀県を作って欲しい。
- ・今後の高齢化社会には必要な取組であり、将来、自分もそういう可能性があることを認識してサポートする必要があると思う。
- ・高齢化社会に伴い、これまでも増してバリアフリーなどが必要になり、健康なうちから助け合い精神をもってできる限り協力したい。
- ・私は視覚障害者ですが、かつて障害などがある人のことを不便であるか実感できなかったが、やはり障害や高齢などハンディを持つ人だからわかる視点が数多くある。
- ・バリアフリーな社会をより一層進めるためには、ハンディキャップを持った人たちが普通に社会や学校に出ている環境を作ることが必要だと思います。
- ・私は昭和35年生まれですが、まだ街には傷病兵の人がいて、不自由な体でも健常な人と一緒に働いていたし、病院や施設が十分になかったがみんな一緒に暮らしていた。
- ・世間には障害について理解のある方もおられるが、まだまだ理解は少ないと思う。もっと繁華街のお店の方は障害者に優しい心を持ってほしいと思う。
- ・家族が車椅子を利用している。周りの迷惑になりそうで公共交通機関については施設面でも、気持ちの面でも利用は考えられない。
- ・「障害者用駐車場」とされている場所が、車椅子の乗降ができないような十分なスペースの確保ができていない場所が多くある。障害者の動きを想定せず作られていると感じる駐車場が多い。(スーパー、レストラン、郵便局、など)
- ・医療機関などでは障害者用駐車スペースがいつも埋まっていて、数を増やして欲しいと思う。

- ・施設内のトイレで、肢体不自由者のオムツを交換できるトイレがとても少なく、外出が制限されて困っている。障害者がどンドン街に出ることが理解、認知につながると思うので改善して欲しい。
- ・県内の施設や交通機関等を利用した際、バリアフリーの視点から疑問を持つことがある。例えば、手すりの位置や傾斜角度に不自然さを感じる。
- ・ハードソフト両面の改良が必要であり、法律等の基準を設け、歩きやすい道の整備が必要。ますます高齢化の時代に車を使えない高齢者や身体不自由者が自由に歩けることは健康寿命を延ばすうえでも、生活の質の向上にも役立つと思う。
- ・たくさんの『形』があるので目に見えるものだけで判断しないで欲しい。また、ハード面とソフト面が共に進んでこそバリアフリー・ユニバーサルデザインだと思う。
- ・公共機関については比較的整備されてきているように感じている。
- ・ベビーカーを押して町に出てみるとエレベーターが遠かったり、通路が狭かったことがあった。気軽に出かけられる街になって欲しい。
- ・公共機関だけでなく、娯楽や飲食の場面もバリアフリー・ユニバーサルデザインの取り組みを推進することで、多くの方が外に出ることの楽しみを感じる(ストレスが減る)ことができれば、より良い社会につながると考える。
- ・駐車場の車椅子マークのところがいつも体が不自由ではない人の車で埋まっている。
- ・車椅子の人が車椅子用の駐車場を避けて遠くに駐車している様子を見ることがあり、なんとかならないかと思う。